

令和3年度 札幌市北方自然教育園事業実施報告

事業名	目的・内容（対象・人数等）	時期・回数
団体指導事業	野外活動、自然環境理解、工作活動のテーマに沿ったプログラムの指導依頼を団体や児童会館などから受け、市民活動支援を目的に実施した。市内の児童会館から要請を受け、自然工作やスノーシューウォーキングの体験指導を行った。	1/7 10名
社会的課題解決事業	SDGsの目標達成に向けた取組については特定営利法人ネイチャープログラムデザインと連携し、学習要素を取り入れた収穫体験を中心とした食（農作物）と自然環境のつながりについての理解を促す事業を準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い中止となった。	中止
児童会館誘致事業 （自主事業）	児童会館を対象とした北方自然教育園の連携事業として「ようこそ児童会館」を実施した。収穫体験や、自然体験活動を通じて子どもたちの自然環境への理解を促し、児童間の団結や協力関係を増進させる機会とした。	ようこそ児童 会館 10/16 24名 10/17 25名 10/23 22名 10/24 11名
自然環境関連フォー ラム	家庭で気軽に取り組める菜園活動について学び、限られたスペースでも取り組めるプランター菜園の方法を学ぶとともに、北方自然教育園で実践している「コンパニオンプランツ」の有用性を発表する機会として、「エコビレッジライフ体験塾」の伊藤伸二氏を講師に迎えオンラインセミナーを実施した。小学生を含む親子を対象に募集したが、今年の春に畑活動に取り組む予定の児童会館からも参加希望があり、学びの機会として参加していただいた。	3/26 6組 23名
市立幼稚園・認定こ ども園・学校に対す る農業体験の機会提 供に関する事業 （体験農場）	市立幼稚園・学校の子どもたちに農業体験の機会を通じて自然環境や食べ物大切さを理解し、「食」について考える事業の提供を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策によって体験農場を希望していた多くの小学校が中止、または往來の作業の工程を省き収穫のみ参加などの対応となった。そのため、苗植えなどから植物が育っていく過程を学べるように、出前授業や水田に関わる体験活動(植え付け、収穫、脱穀精米体験)の動画を作成し、学校で活用していただいた。	5月～11月 737名 実施 22校 延べ 22校 <内訳> 畑作 1校 水田 8校 果樹 13校

<p>市立幼稚園・認定こども園・学校に対する生物教材の提供に関する業務 (教材用生物の提供)</p>	<p>教材用生物(稲、ヘチマ、コオロギ、カイコ)の配付について安定した供給をするため、ヘチマは芽切や浸水などを取り入れ発芽率を上げた。コオロギやカイコは卵ではなく孵化した幼虫を購入することで、適切な数の提供を希望通りに無駄がなく用意することができるように効率を図った。</p> <p>提供時の工夫として飛沫防止のスクリーンを設置するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて、予定通り実施した。</p>	<p>生物教材配付日 ① 6/1 ②6/2 申込 210 校 延べ 642 校 &lt;内訳&gt; 稲 96 校 ヘチマ 193 校 コオロギ 186 校 カイコ 167 校</p>
<p>自然体験に関する学習機会の提供に関する業務</p>	<p>市民を対象にした「自然体験学習会」を実施し利用促進を図った。</p> <p>〈家族でわくわく貝化石観察会〉 〈自然素材のクリスマスリース作り〉 〈新年しめ飾りづくり〉</p> <p>以下の事業については実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止となった。</p> <p>〈北方フルーツファーム〉 〈北方ファーム〉 〈トンボの観察会〉</p>	<p>7～12 月 39 名(12 組)</p>
<p>自然体験や展示に関する情報の収集および提供に関する事業(情報収集・提供事業)</p>	<p>自然体験や展示に関する情報収集等の実施。</p> <p>・南区地域情報提供及び事業(南区シーニックバイウェイスタンプラリーへの実施協力)参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い中止となった。</p>	<p>中止</p>
<p>自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援</p>	<p>市民ボランティア事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、作業前には検温を行い、1日1名野外での活動のみ可能と活動を制限して実施した。園内の美化や新たな植物の植え付けなどの整備に尽力していただいた。</p> <p>教育機関支援事業については、みなみの杜高等支援学校に赴き、協力活動の場として出前精米の事業を行った。</p> <p>〈市民ボランティア事業〉 〈教育機関支援事業〉</p>	<p>市民ボランティア事業 (登録者 3 人) 4～11 月 延べ人数 27 人 教育機関支援事業 ①みなみの杜高等支援学校 11/24 8 名 ②学生展示 1/29～2/28</p>

<p>自然体験や展示に関する相談業務 (相談業務)</p>	<p>自然や生物に関する各種相談に対応した。 過去に昆虫、植物に関することなどの質問を受けた記録を残しており、新たに相談を利用者から受けた際にどの職員も振返りができることで、より適切な回答ができる仕組みをとった。</p>	<p>通年随時</p>
<p>その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務</p>	<p>設置目的を達成するために必要な業務として、自然環境学習・研修を実施し、学習活動の推進を図った。新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い中止となった事業もあったが、開催できるものについては対策を講じて実施した。 〈教職員研修事業〉 18名 〈森と池の生き物たちを観察しよう～夏休み親子観察会～〉 8/11 3組 11名 〈北方スノーシュー自然観察〉 1組 3名 〈フルーツ・スイーツ倶楽部〉 3組 9名 〈ロビー展示〉</p>	<p>7月～3月 41名(7組) ※ロビー展示は施設利用者数に含む</p>
<p>(使用承認等に関する業務)</p>	<p>北方自然教育園の利用に関しての業務を実施した。 ・有料貸室利用の受付(多目的室・工作室) ・学習館ロビー展示事業に関する受付</p>	<p>有料貸室受付 多目的室 9件 工作室 0件</p>
<p>(広報業務)</p>	<p>管理業務に付随するものとして施設のPRや情報提供を行い広報に努めた。 ・Facebookページの更新 ・事業チラシ等の発行</p>	<p>通年随時</p>
<p>(調査・研究)</p>	<p>北国の農作物に触れる機会の提供として学びの農園(Learning Garden)を試行的に実施。農薬を使わない自然農法の提案・記録をファイルにまとめ、来園者に対しての情報の提供を図った。</p>	<p>通年随時</p>

## ＜令和3年度事業実施報告内訳＞

### 【自然体験に関する学習機会の提供に関する業務】

#### 単発型自然体験

回	月日	曜日	内 容	参加人数
1	7/25	日	「家族でわくわく貝化石観察会」 サッポロカイギュウの発見者を講師に招き、豊平川河川敷周辺の歴史・地質・地層の成り立ちをフィールドワークで学び、貝化石の発掘体験を行った。	3組6名
2	8/28	土	「トンボの観察会」 北海道トンボ研究会会員を講師として招き、トンボの生態について座学を行い、園内でのトンボ採取と観察会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園のため中止とした。	中止
3	11/20	土	「自然素材のクリスマスリース作り」 園内のつる性植物「クズ」で形成したリースを用いて、木の実やドライフラワー等の自然素材で装飾するなど、参加者は家族で協力しながらクリスマスリースの製作を行った。	2組9名
4	12/18	土	「新年しめ飾りづくり」 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、参加人数の制限や会場を分けての事業を開催した。参加者は自然素材である、菅（すげ）を活用したものづくりを体験することで、日本古来の風習や伝統について触れる機会を提供した。	12/18
5	12/19	日		1組3名
① 小計(3事業4回)				12/19 6組21名
				12組39名

#### 継続型自然体験

回	月日	曜日	内 容	参加人数
1	5/22	土	「北方ファーム～家族で食べ物育て隊」(土曜コース)① 農作物についての学習と畑でのトウモロコシとジャガイモの種まき体験を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止とした。	中止
2	5/23	日	「北方ファーム～家族で食べ物育て隊」(日曜コース)① 農作物についての学習と畑でのトウモロコシとジャガイモの種まき体験を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止とした。	中止
3	7/10	土	「北方ファーム～家族で食べ物育て隊(土曜コース)②※継続参加者 除草作業とジャガイモやトウモロコシの生育状況の観察と記録作成を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止とした。	中止
4	7/11	日	「北方ファーム～家族で食べ物育て隊(土曜コース)②※継続参加者 除草作業とジャガイモやトウモロコシの生育状況の観察と記録作成を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止とした。	中止
5	8/21	土	「北方ファーム～家族で食べ物育て隊(土曜コース)③※継続参加者 1回目・2回目が新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止となったことで、3回目も中止とした。	中止
6	8/22	日	「北方ファーム～家族で食べ物育て隊」(日曜コース)③※継続参加者 1回目・2回目が新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止となったことで、3回目も中止とした。	中止

7	6/19	土	「北方フルーツファーム～家族で果物育て隊～」(土曜コース)① ナシの摘果(果実の間引き)や、袋かけ作業体験を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止とした。	中止
8	6/20	日	「北方フルーツファーム～家族で果物育て隊～」(日曜コース)① ナシの摘果(果実の間引き)や、袋かけ作業体験を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止とした。	中止
9	10/16	土	「北方フルーツファーム～家族で果物育て隊～」(土曜コース)② ※継続参加者 ナシの収穫体験と病害虫による被害について学習を予定していたが、1回目が新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止となったことで、2回目も中止とした。	中止
10	10/17	日	「北方フルーツファーム～家族で果物育て隊～」(日曜コース)② ※継続参加者 ナシの収穫体験と病害虫による被害について学習を予定していたが、1回目が新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により中止となったことで、2回目も中止とした。	中止
② 小計(0事業0回)				0組0名
① +②合計(3事業全4回)				12組39名

### 【自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援】

#### 市民ボランティア事業

回	月日	曜日	内 容	参加人数
1	随時	—	個別自主活動による園内の環境美化 ・枯れ枝拾い、花壇用花卉の播種、花壇および農場の除草	26回26名
合計(1事業全26回)				26回26名

#### 教育機関支援事業

回	月日	曜日	内 容	参加人数
1	11/24	水	【みなみの杜高等支援学校】 田植から稲刈り、精米へと米ができる過程をパネルを用いて説明し、体験実習として「粳すり」や「精米」の学習を行った。	8名
2	1/22～ 2/28	土 月	「学生展示」 東海大学生物学科の松井教授と学生・科学学部有志が「樽前山のヒバリ」「樽前山の昆虫」など生態調査を研究して制作したパネルなどを展示して、学生の研究発表の場を提供した。	期間中随時
合計(2事業全2回)				8名※随時期間含めず

### 【その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務】

回	月日	曜日	内 容	参加人数
1	4/29～ 3/31	木 木	「ロビーで簡単工作」 学習館利用促進のため、昨年度より通年でロビー工作の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、中止とした。	中止
2	5/3	月	大人の学び舎「春の自然散策～身近な山野草・山菜～」 北海道薬科大学名誉教授を講師に招き、座学と園内観察林を活用して春から初夏にかけて生息する山野草の観察を中心にフィールドワークを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う休園により、中止とした。	中止

3	7/3	土	「親子サクランボ採取とジャム作り体験」 親子と大人を対象にサクランボの採種体験とジャム作りを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、中止とした。	中止
4	7/4	日		
5	7/30	金	「教職員研修事業」 教育センターと協働し教職員の研修会の受入れと自然環境研修、農業体験を実施した。	18名
6	8/1	日	「森と池の生き物たちを観察しよう～夏休み親子観察会」 北海道自然観察協議会と協働で実施した。親子で自然観察林では動植物を観察しながら、自然観察指導員の解説を聞き、動植物の生態について学び、池ではヤゴやドジョウなどの水生生物の採集活動を行った。	3組 11名
7	11/3	水	《フルーツ・スイーツ倶楽部》 定山溪自然の村との連携事業として、北方自然教育園でリンゴを収穫し、定山溪自然の村ではそのリンゴを使ってタルトタタンを作った。	3組 9名
8	1/16～ 3/14	土 日	「北方スノーシュー 野鳥観察&自然観察」 スノーシューの貸し出しを行い、参加者は園内を自由に散策して、冬の樹木や動物の痕跡を観察した。	1組 3名
① 小計(7事業4回)				7組 41名

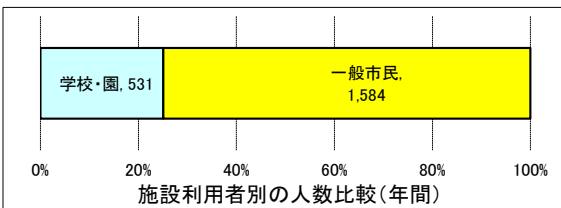
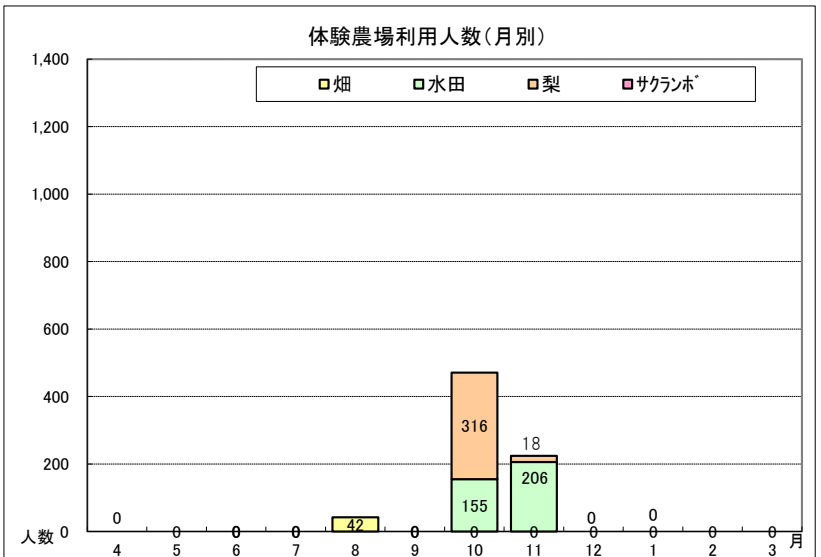
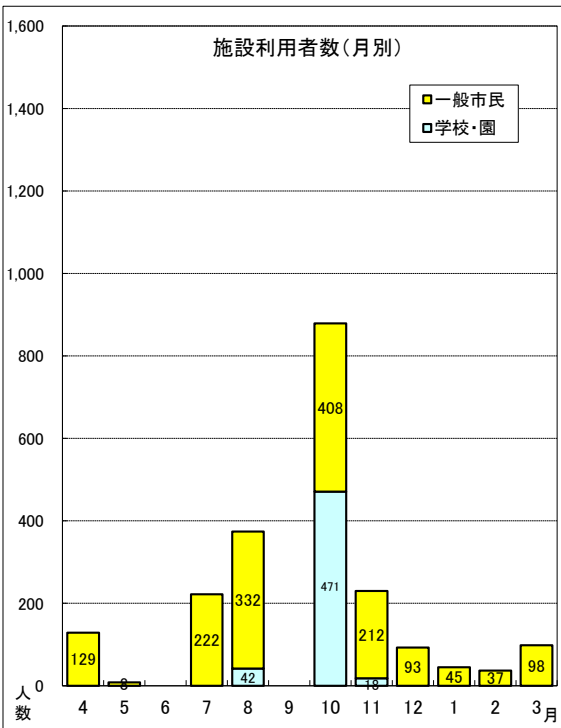
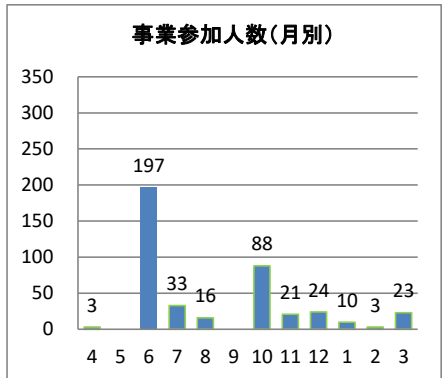
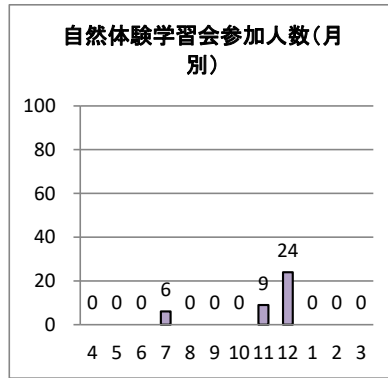
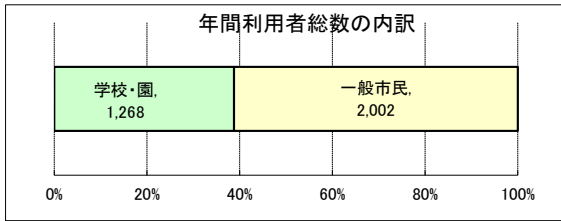
#### ロビー展示

回	月日	曜日	内 容	参加人数
1	4/20 ～5/23	火 日	「春の山野草・山菜」 春の自然散策で見られる植物などをわかりやすくパネルで紹介した。	期間中随時
2	7/21～ 8/25	水 水	棚橋コレクション「北海道で産出された化石と鉱物」 「家族でわくわく貝化石観察会」の事業と連動として、サッポロカイギウの発見者の監修および協力のもと、北海道で産出された化石と鉱物の展示を行った。	期間中随時
3	9/18～ 10/24	土 日	「秋の散策で注意したい生物」 ヒグマやスズメバチ等の危険生物の生態や注意事項のパネルを展示し、実際に遭遇した場合にはどうしたらよいかなどの情報をわかりやすく提供した。	期間中随時
4	12/18～ 1/28	土 金	「冬の森でなんだろー」 冬の森にある植物について、たのしく学べるクイズ形式でパネルを展示した。	期間中随時
② 小計(4事業随時)				—
① +②合計(4事業4回)				4組 32名 ※随時期間含めず

令和3年度 札幌市北方自然教育園 月別利用状況一覧表

2022/3/31 現在

月	施設利用								体験農場								自然体験学習会	自然ふれあい事業	その他事業等(ボランティア等)	事業	合計							
	学校・園		一般				小計		学校・園				小計															
	校数	人数	団体	個人	人数計	団体	人数	畑	水田	梨	サクランボ	校数	人数	校数	人数													
4	0	0	0	0	129	129	0	129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	132	
5	0	0	0	0	8	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	197	0	197	0	197	
7	0	0	2	24	198	222	2	222	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	27	3	33	5	255		
8	1	42	1	11	321	332	2	374	1	42	0	0	0	0	0	1	42	0	0	3	11	0	5	3	16	6	432	
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	15	471	6	121	287	408	21	879	0	0	3	155	12	316	0	0	15	471	0	0	0	4	88	4	88	40	1,438	
11	1	18	2	44	168	212	3	230	0	0	5	206	1	18	0	0	6	224	2	9	0	3	12	5	21	14	475	
12	0	0	2	28	65	93	2	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	24	0	0	0	7	24	9	117	
1	0	0	2	18	27	45	2	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	1	10	3	55	
2	0	0	1	10	27	37	1	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	3	2	40	
3	0	0	1	10	88	98	1	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	23	6	23	7	121		
合計	17	531	17	266	1,318	1,584	34	2,115	1	42	8	361	13	334	0	0	22	737	12	39	4	14	14	365	30	418	64	3,270



# 令和3年度札幌市北方自然教育園管理業務実施報告書

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

## 1 統括管理業務

### (1) 管理運営業務の事業方針

農業体験を中心とした体験学習を安定的に提供することを事業方針に据えて、コロナ禍においても提供が可能なプログラムを考慮し、事業を実施した。自然環境を軸とした農業と自然との関わりについて、体験を希望するすべての学校に体験機会の提供をすることができた。各学校で活用できる動画の提供やオンラインでの事業開催も積極的に行い、学校教育における自然体験活動機会の一助を担えるよう努めた。

### 【重点目標への取り組み】

- ①「市内の自然環境や動植物についてのセミナーを実施し、自然環境の保全や共生について考える機会を提供」

家庭で気軽に取り組める菜園活動をテーマに、オンラインセミナーを開催した。限られたスペースでも取り組めるプランター菜園の方法を学ぶとともに、北方自然教育園で実践している「コンパニオンプランツ」の有用性を発表する機会として実施した。

- ②「地域住民との関係性を深めるための地域活動への参加」

白川地区の地域活動として、共同で使用している水源地の泥除去や除草などの整備を今年度も行い、地域住民との関係性を高めたことで施設への理解をいただけるように努めた。

- ③「小中学校をはじめとする体験学習への安定的な機会提供および学習機会の強化」

コロナ禍により体験農場に参加する学校は少なかったが、希望校には水田の育成状況が学べる動画を作成し、授業での補助教材として活用いただいた。また出前授業では苗から精米へと米ができる過程をパネルを活用して紹介し、実習として「粃すり」や「精米」の体験を実施した。

- ④「配布する生物教材の飼育方法の見直しと幼保小中学校への安定的な供給」

生物教材配付では、令和2年度より施設内でのコオロギの繁殖業務から、業者より購入したものを配付する方法に切り替えており、令和3年度もその方法を継続することで効率化を図っている。

併せて、年末年始の生物教材飼育業務(餌やり)においても専門家の意見を聞きながら業務内容を整理し、労務環境改善に努めた。

- ⑤「SNS、HP、オンライン等を活用した小中学校に対する事前および事後学習の支援」

事業チラシ等の掲示やFacebookを活用し、事業の案内や報告について積極的に情報発信を行った。



⑥「学びの農園（Learning Garden）実施に向けての調査研究」

学びの農園については、コンパニオンプランツを植えることで植物の特性をいかし害虫を防ぐ取組を実施するとともに、自然農法の提案をファイルにまとめ、職員が来園者に対して提案できるようにした。

⑦「指定管理者である当財団内の事業連携強化を図る」

児童会館との連携事業として「ようこそ児童会館」を実施し、農園など施設の環境を活かした自然体験活動を行った。

(2) 平等利用の確保

学習館等施設の利用に対しては、年齢、性別の有無等による制限はしていない。施設を利用する誰もが公平であり快適に過ごせるように、丁寧に誠実な対応を心がけた。

(3) 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

日常的な業務の中で常に環境への意識を啓発し、ペーパーレスの推進や施設の節電などの他、各種エネルギー消費量を継続的に記録し、職員のエネルギー消費削減に対する意識を高めて取り組んだ。

(4) 管理運営組織の確立

統括管理者の担当課長を中心に、各業務の分担や緊急時の連絡系統の整備など適切な維持管理に努めた。

職員間においては、お互いの保有している農作業や昆虫飼育などの専門的な知識を日常的に共有及び伝承を行い、今後の円滑な運営に向けての対応を図った。

(5) 管理水準の維持向上に向けた取組

日々朝礼を行い、情報の行き違いがないように必ず報告・確認を行い、連絡事務等、情報の共有を図り迅速な業務および運営に努めた。また、必要に応じて知識の共有を行うことで、職員的能力向上に努めた。

(6) 第三者に対する委託業務等の管理

専門的知識や経験を有する業務について業者の入札等を実施し、委託を行った。

委託した業務の履行については、市民サービスの向上について配慮し、利用者の安全を十分に確保するよう行った。また、委託契約先や物品購入の取引先などに暴力団や暴力団関係者を契約相手としないなど、暴力団排除に取り組んだ。

(7) 委員会及び関係機関との連絡調整等

令和3年度の運営協議会については、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止対策として資料送付による報告とし、後日意見の集約を行った。（第1回10月5日資料送付、第2回3月19日資料送付）。

委員の皆様にはコロナ禍における事業実施状況や運営面において、対策を講じながらの運営や事業実施方法など助言をしていただき、施設運営や事業等に反映させた。

## (8) 財務

資金を適正に管理するため、当財団の財務規程に基づき、金銭の取扱い及び経理事務を適正に行った。入金に際しては複数の職員で確認を行い、収入事務を適正に行った。

## (9) 苦情対応

市民からの要望・苦情等を適正に処理するため必ず受付簿に記録を残し、ご意見をいただいた際にも札幌市教育委員会と連携して誠意をもって対応できる体制を組んだ。

## (10) 記録・モニタリング・報告・評価

指定管理に関する記録、帳簿等を常に整備し、当財団の処務規程に基づき適正にデータ保管した。また必要に応じて速やかに漏れがなく照会ができるようにした。

事業では満足度の向上のため、プログラムの最後にアンケート調査を実施して内容の向上に努めた。また札幌市の調査及び業務、財務検査等に対し誠実に対応した。

## 2 施設・設備等の維持管理に関する業務

### (1) 総括的事項

#### ①利用者等の安全確保、市民サービスの向上への配慮等

緊急連絡体制を整備し、不測の事態に備え消防計画に基づき自衛消防隊を組織し、消防訓練を実施した。

また、令和3年5月3日～令和3年7月11日および令和3年8月28日から令和3年9月30日の期間、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い臨時休園とした。

再開後は下記のとおり対策をとり施設管理、事業運営を行った。

#### 【施設管理】

ホームページ及び施設内掲示を行い新型コロナウイルス感染症対策の啓発を行った。

- ・「北海道スタイル」安心安全宣言
- ・北方自然教育園利用にあたって

#### 受付時

- ・ビニールシートを使用した簡易間仕切りの設置
- ・入館時の手指消毒、マスク着用の推進
- ・受付対応時は密にならないよう整理
- ・受付スペースの間仕切り継続
- ・利用者名簿提出（利用全員分）の継続

#### 館内全体

- ・見学等密にならないよう身体的距離の確保
- ・飲食の原則禁止（水分補給程度は可）
- ・ゴミ箱の撤去
- ・図書の間接照明中止
- ・スリッパ消毒の徹底

#### 貸室

- ・各室定員の 50%以下で貸出とする
- ・貸室利用時の換気指導
- ・利用代表者、参加者の氏名、連絡先の把握管理
- ・参加者名簿については感染発生時等必要に応じて公的機関へ提供
- ・人数超過等対策を講ずることが困難と判断する場合は利用を認めない

#### 屋外施設（園内広場・山道・駐車場等）

- ・マスクの着用等基本的対策の推進
- ・身体的距離の確保

#### 【事業運営】

- ・市民ボランティア事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため 1 日 1 名のみとして、袋かけ作業や除草作業など野外での活動をしていただいた。
- ・屋内で行う事業については、感染予防対策を講じた上で実施した。

#### ②連絡体制確保

各関係機関との連絡体制を整備し、職員間での共有を行った。

#### ③保険加入

施設賠償責任保険及び損害賠償責任保険に加入して、事故の発生など有事に備えた。

#### (2) 施設、設備等の維持に関する業務

##### ①清掃業務

日常清掃は指定管理者職員が行い、建物の主要箇所等の美化に努めた。また専門の清掃会社に委託し特別清掃を実施した。

ア 日常の清掃業務および施設内外の清掃業務（指定管理者が実施）

イ 特別清掃業務（株式会社キョーエー札幌に委託し実施）

##### ②警備業務

主たる警備業務である夜間警備、年末年始を含めた休園日の警備については専門の警備会社に委託し実施した。そのほか事故や自然災害など不測の事態に対して、緊急連絡体制を作成し備えた。

ア 警備業務（委託業者：株式会社ベルックス 機械警備として通年実施）

イ 火災・事故の防止（指定管理者が日常点検として実施）

ウ 火災または事故など有事の緊急対応（緊急連絡体制の作成）

### ③施設及び設備の保守点検業務

設備点検業務については以下の項目について専門業者に委託して実施した。

(委託業者：三城美装株式会社 通年実施)

- ア 自家用工作物保安業務
- イ 浄化槽維持管理業務
- ウ 冷暖房設備保守管理業務
- エ 受水槽清掃業務
- オ 温風器整備点検業務

利用者に万全な施設及び設備を提供するため日常点検を行い、点検等で不具合を確認した際は、迅速に対応した。

### ④修繕

施設全般の機能、備付備品について施設管理上及び市民等の利用に支障が生じることが無いように速やかに修繕の対応をした。

- ア トラクター修繕業務
- イ 第1温室天井硝子入替修繕業務
- ウ リヤカータイヤ修繕業務
- エ 除雪機整備修理業務
- オ トラクター用ロータリの修繕業務
- カ 浄化槽盤内マグネットスイッチ交換業務
- キ ブラインド・網戸取替業務

### ⑤備品管理

定期的に備品の管理点検を行い、適正な維持に努めた。

### ⑥駐車場管理

駐車場の管理及び駐車場利用車両に関しては職員が適切な利用のため誘導等を行い、安全性を確保した。冬期間は専門業者に委託し除雪業務を実施した。

(委託業者：株式会社光和 12月～3月実施)

### ⑦外構緑地管理

敷地内外溝、緑地については美観保持のため、専門業者に委託し実施した。簡易的な剪定や消毒、冬囲い等については指定管理者が実施した。

(委託業者：株式会社南香園、5月～10月実施)

## (3) 防災業務

消防設備保守点検および初期消火の消防訓練の実施をした。

消防設備については、保守点検業務を年2回専門業者に委託して実施した。

(委託業者：株式会社ベルックス)

3 事業の計画及び実施に関する業務

「令和3年度 札幌市北方自然教育園事業実施報告」

「令和3年度 事業実施報告内訳書」(資料1・2 参照)

4 施設の利用等に関する業務

「令和3年度 札幌市北方自然教育園月別利用状況一覧表」(資料3 参照)

5 管理業務に付随する業務

広報業務

「令和3年度 札幌市北方自然教育園事業実施報告」(資料1 P3「広報業務」参照)

6 その他

自主事業

「令和3年度 札幌市北方自然教育園事業実施報告」(資料1 P1「自主事業」参照)

令和3年度 札幌市北方自然教育園 収支報告書

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

1. 収 入

(単位：千円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	備 考
利用料金	123	82	41	利用料金
その他収入	182	108	74	参加料・受講料、雑収入等
指定管理費	30,342	30,342	0	
収入計 (I)	30,647	30,532	115	

2. 支出

(単位：千円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	備 考
人件費	9,663	10,089	▲ 426	給料、臨時職員賃金、福利厚生費等
旅費・交通費	56	4	52	実費交通費、旅費
光熱水費	1,734	1,550	184	電気、水道料金
通信運搬費	282	216	66	固定電話、ネット回線等
租税公課	2,100	2,085	15	消費税分
広告宣伝費	40	0	40	
保険料	150	119	31	施設賠償・入場者保険
賃借料	164	164	0	軽トラックレンタル
修繕費	400	441	▲ 41	付帯設備修繕、農機具修繕、除雪機修繕等
消耗品費	1,333	968	365	管理用品、農業等物品、事業用品、飼育用品等
備品費	30	115	▲ 85	パネル、水槽
印刷製本費	0	0	0	
燃料費	1,614	1,940	▲ 326	重油、灯油、トラクター軽油等
諸謝金	70	17	53	研修講師謝礼
委託費	11,855	11,922	▲ 67	体験農園営繕、樹木植栽物管理、警備、設備保守点検等
入場料	0	0	0	
負担金	30	0	30	
役務費	354	286	68	コピー機保守点検、浄化槽検査、ゴミ袋等
会議費	4	0	4	
雑支出	0	0	0	
支払手数料	2	0	2	
減価償却費	0	0	0	
行政財産目的外使用料	0	0	0	
その他支出	733	699	34	財団本部経費等
行政財産の目的外使用料				
支出計 (II)	30,614	30,615	▲ 1	

3. 収支差額

(単位：千円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	備 考
差額 (I-II)	33	▲ 83	116	